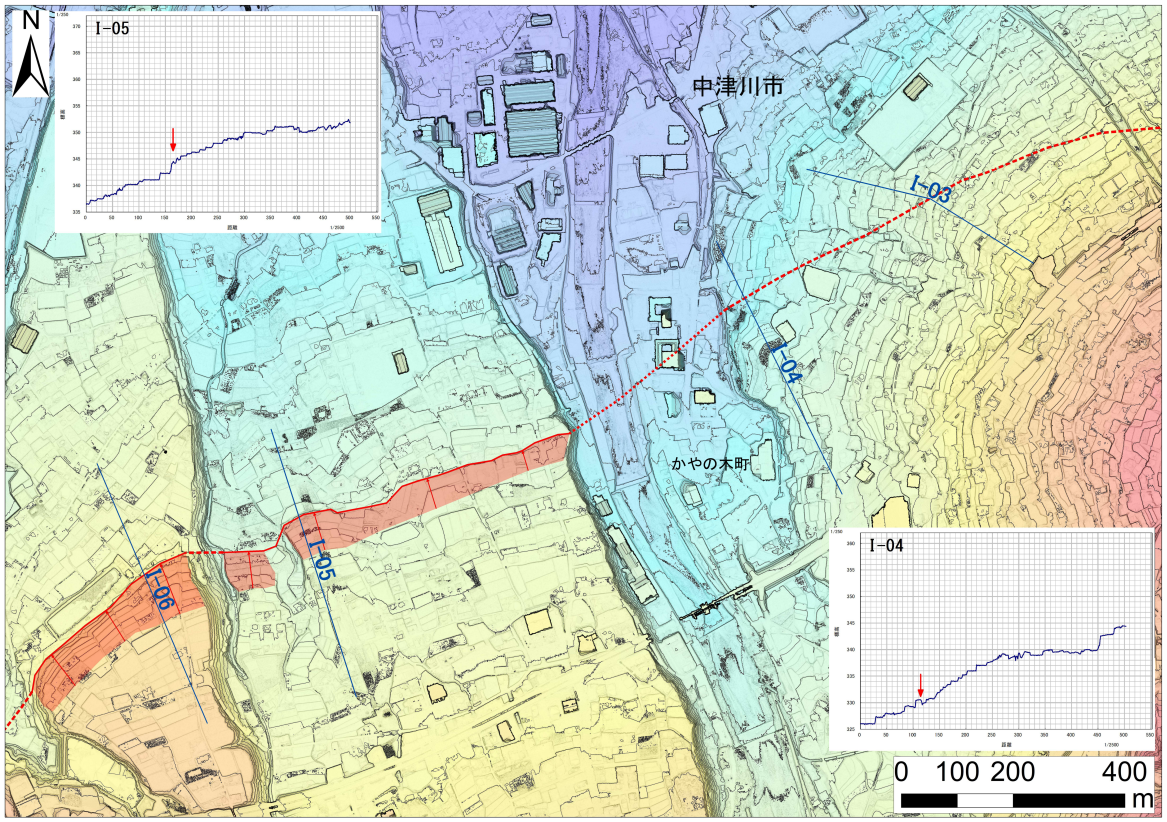
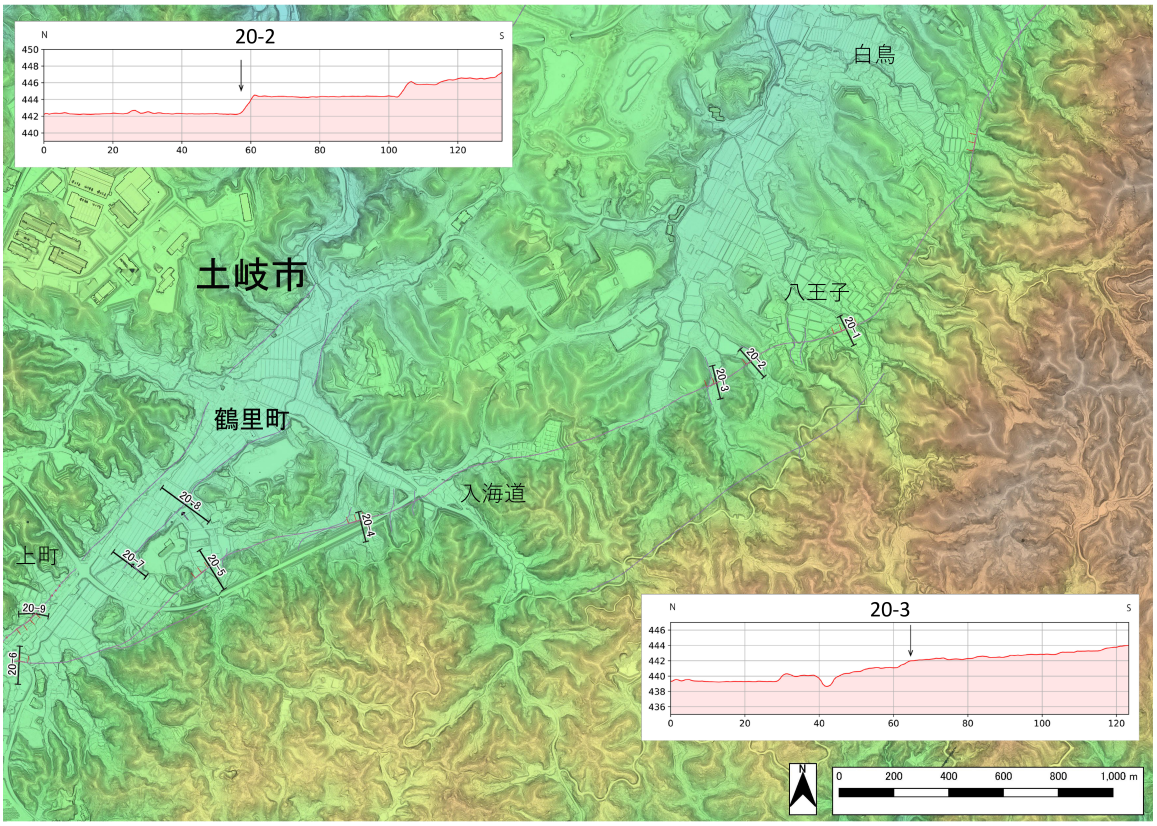
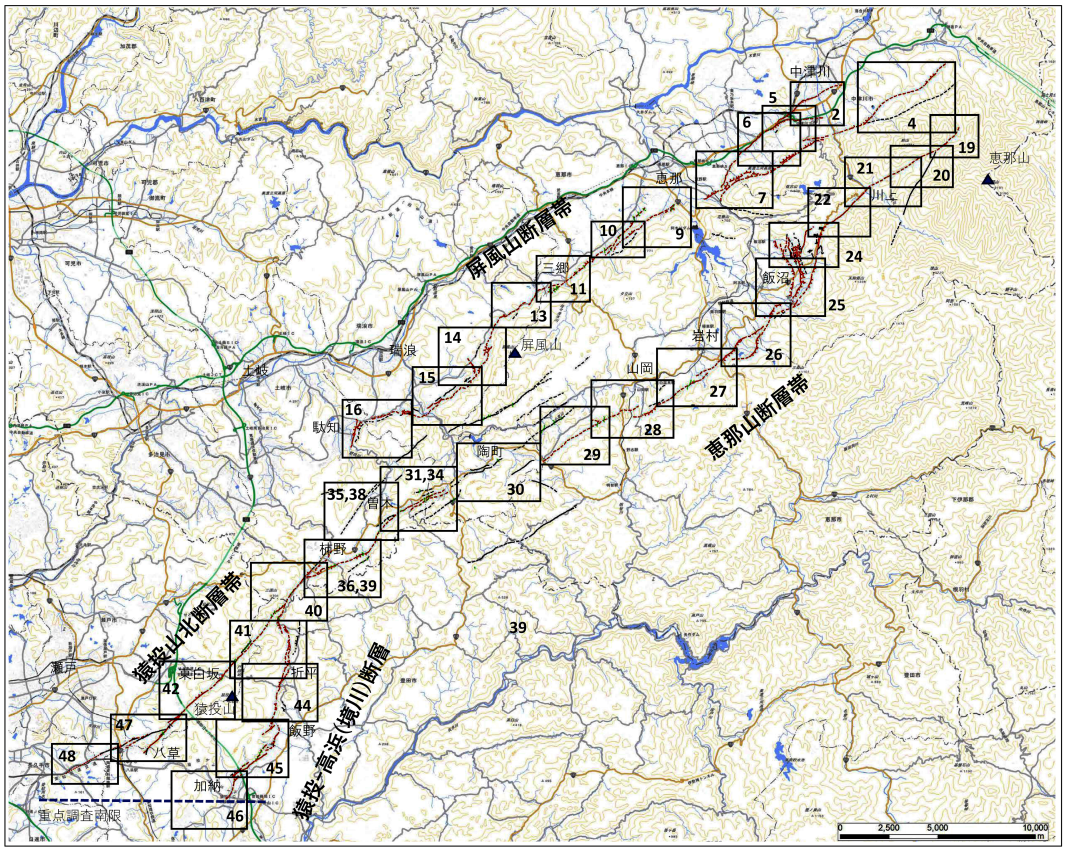
1　震源断層シナリオ評価のための詳細位置形状・変位量調査及び総合解析



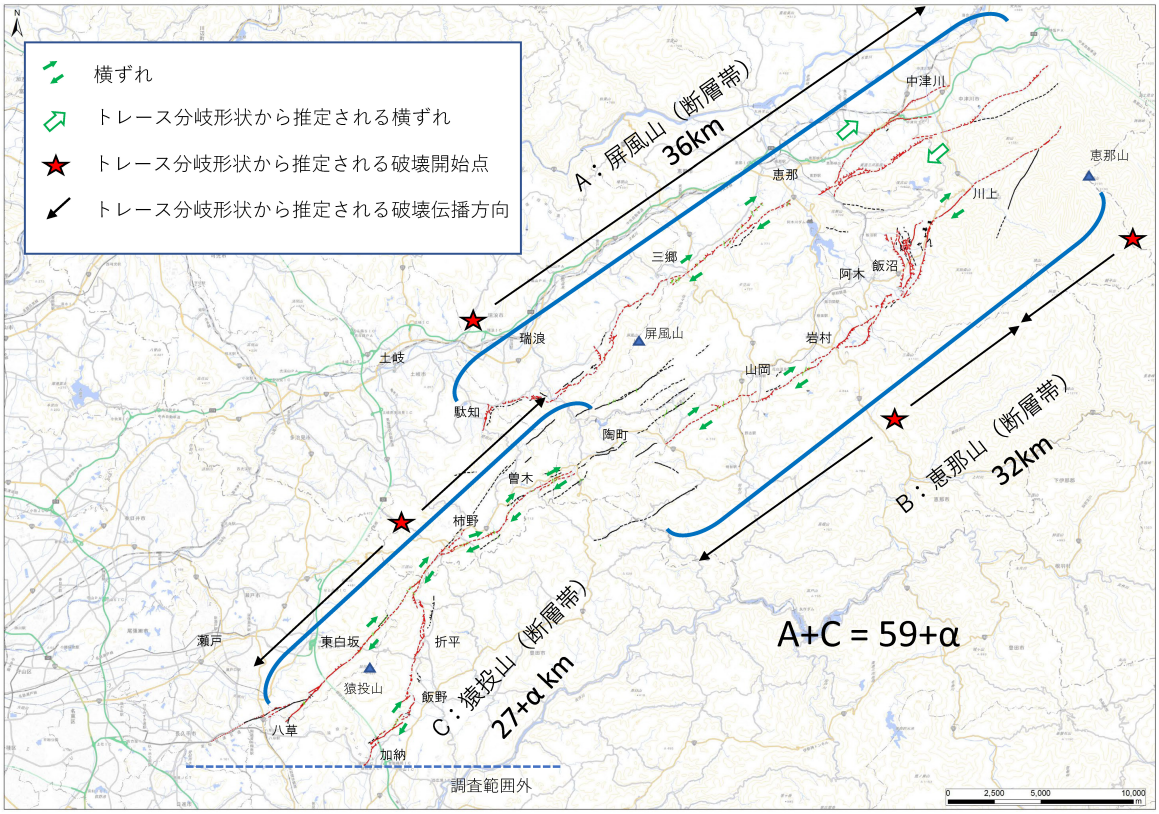
活断層トレース検討例（屏風山断層　中津川付近）



活断層トレース検討例（恵那山断層　土岐市鶴里町）

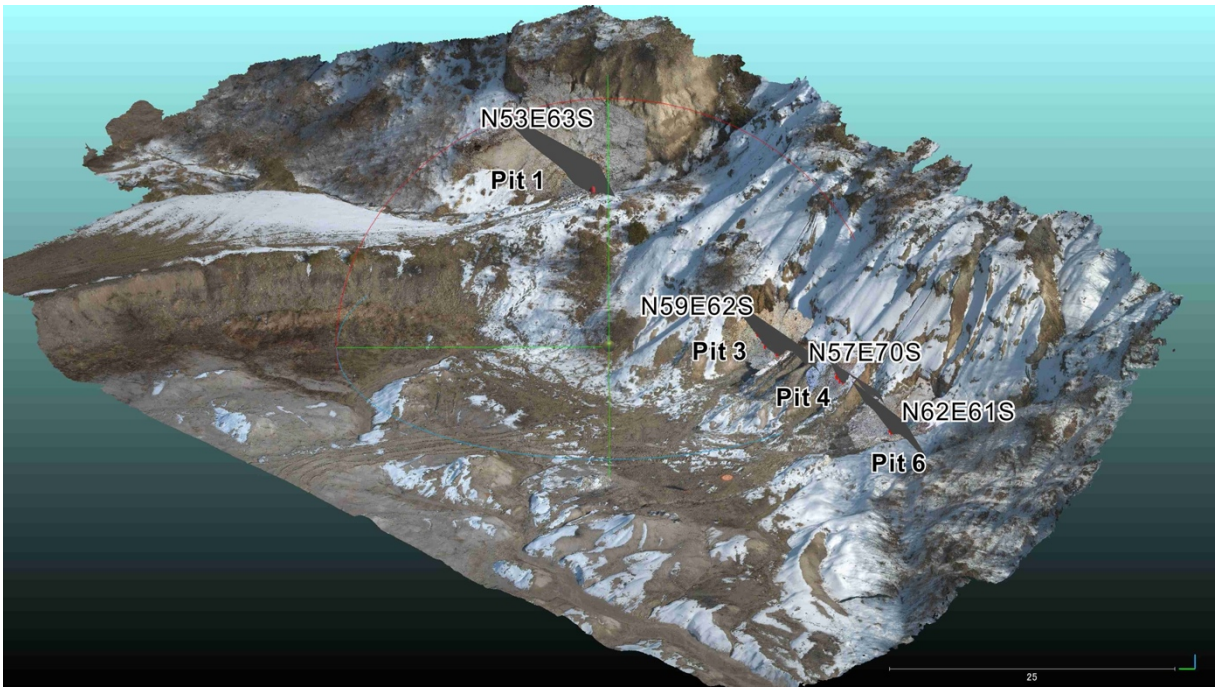


本研究による活断層（赤線）及び推定活断層（黒線）と詳細図番号（数字は本文中の検討図番号）。国土地理院地図に加筆。断層トレースは本研究の成果による。



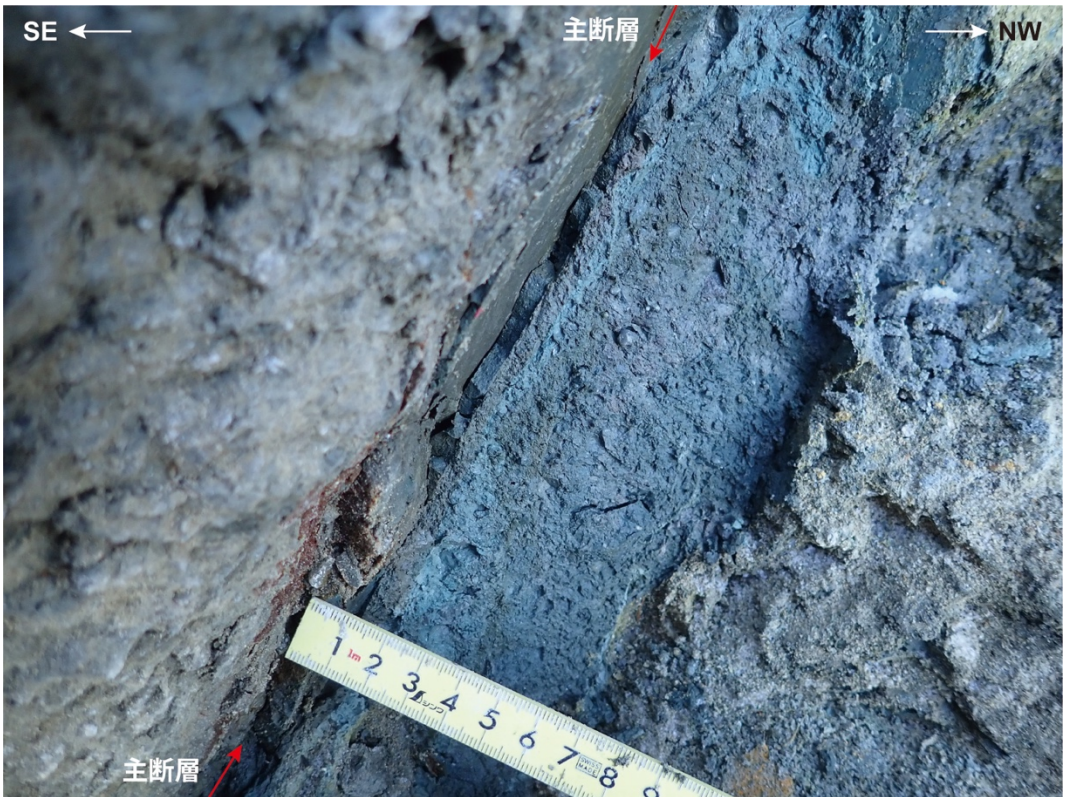
活動区間区分の検討（第一次案）

2　地震発生予測のための活動履歴調査



恵那山断層で実施したピット調査現場の３次元モデル
UAV を用いて上空から撮影した画像を計算して作成（撮影者・作成者：重松紀生）

恵那山断層のピット壁面に現れた断層露頭（撮影者：安江健一）



Pit4 西壁面で観察した断層ガウジの層状構造（撮影者：ダイヤコンサルタント）

Pit4 西壁面で観察した断層条線（撮影者：ダイヤコンサルタント）

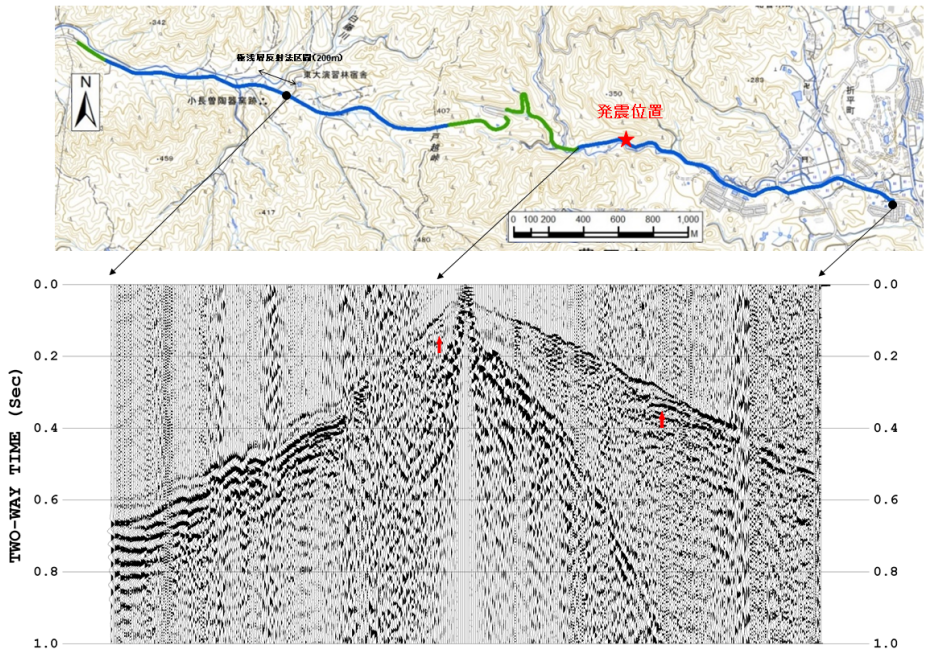
3　断層の三次元地下形状把握のための調査観測

極浅層発震区間有線展開

独立型記録システム

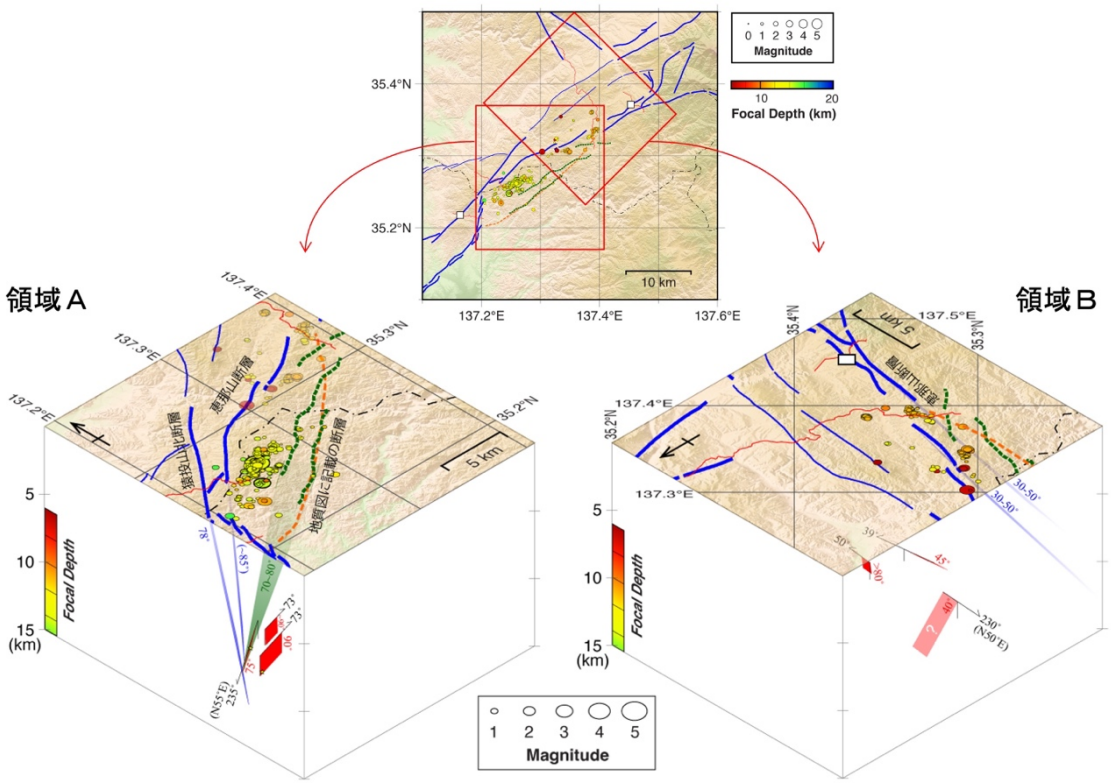
測線１（RP436）

測線２（RP220）



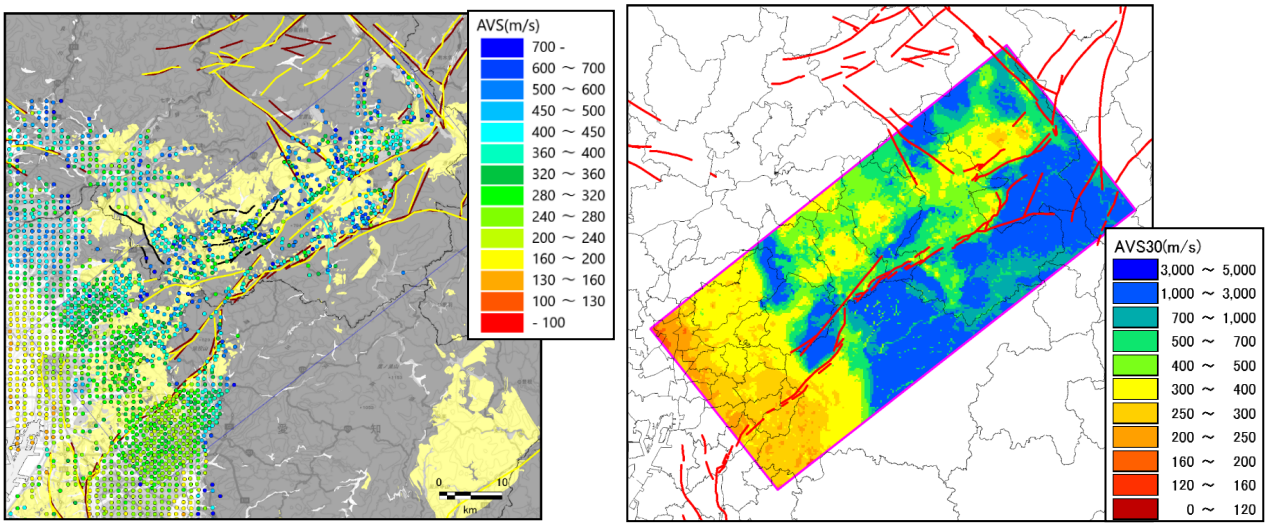
測線1 浅層反射法発震 VP1868
発震系仕様概要: 発震周波数 10-140Hz, 出力エネルギー70%, スイープ回数2回
表示：Trace by trace sigma scaling

浅部反射法地震探査の実施状況（写真は（株）地球科学総合研究所提供）と発振記録の例（測線１）。発振点の東側西側とも初動を視認することができ、反射波と思われるイベントが認められる（赤矢印）。国土地理院の地理院地図に加筆。

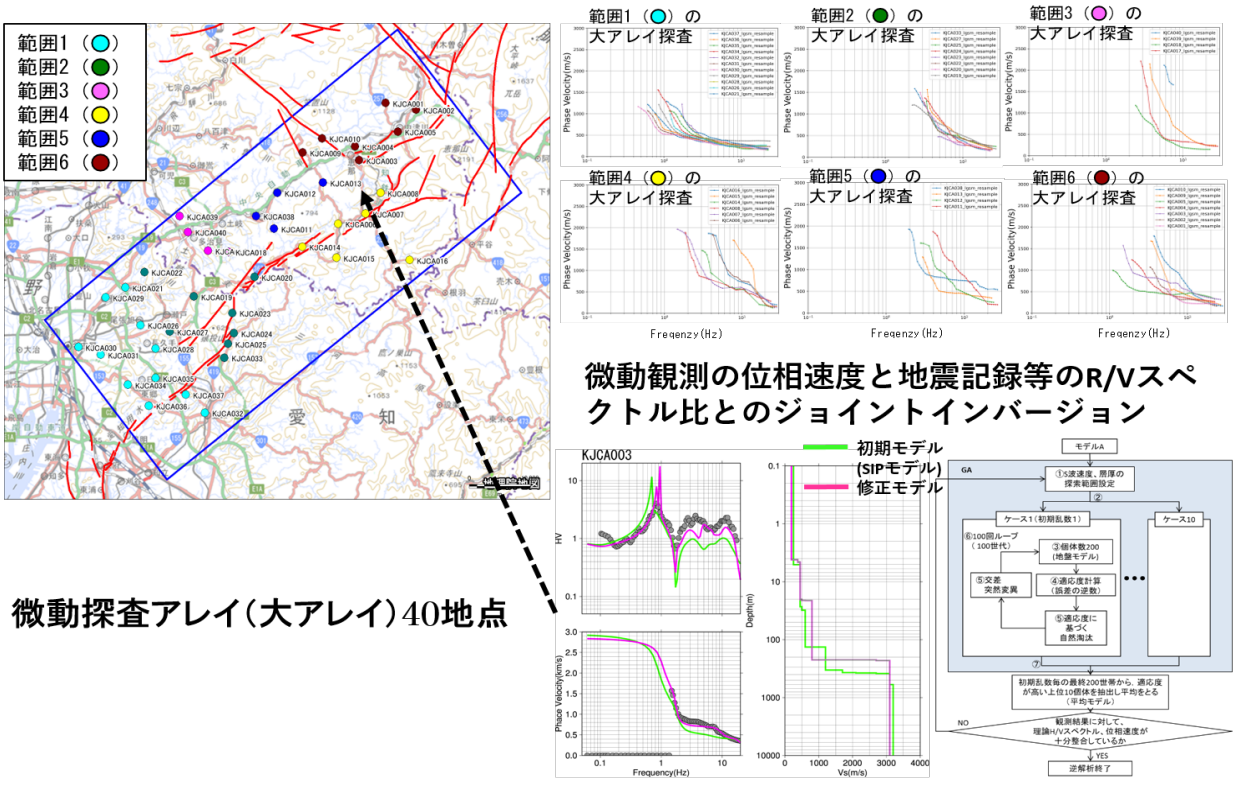


恵那山断層西端部で過去に発生した地震を対象として、DD法による精密震源決定結果から明らかになった深部における面構造の模式図。領域A、領域Bそれぞれについて別の断面に投影している。

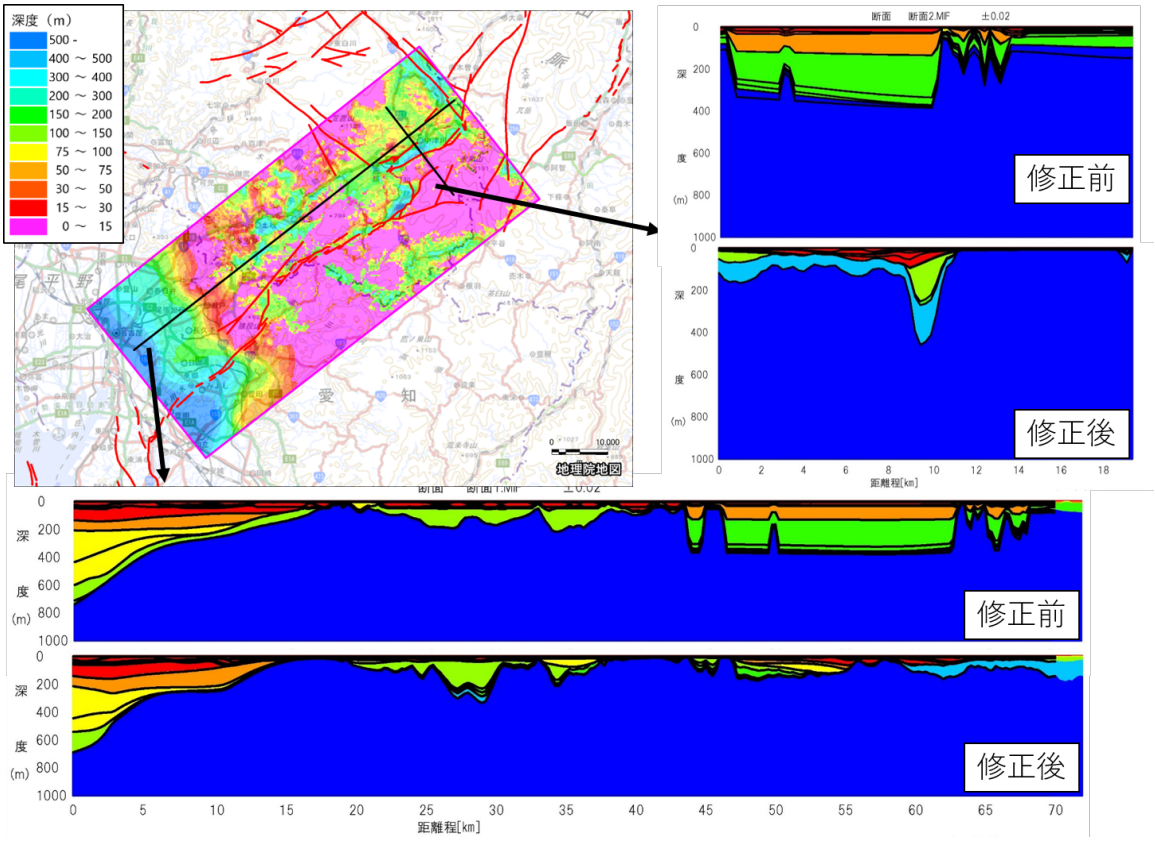
4　断層近傍及び都市域における強震動予測向上のための調査



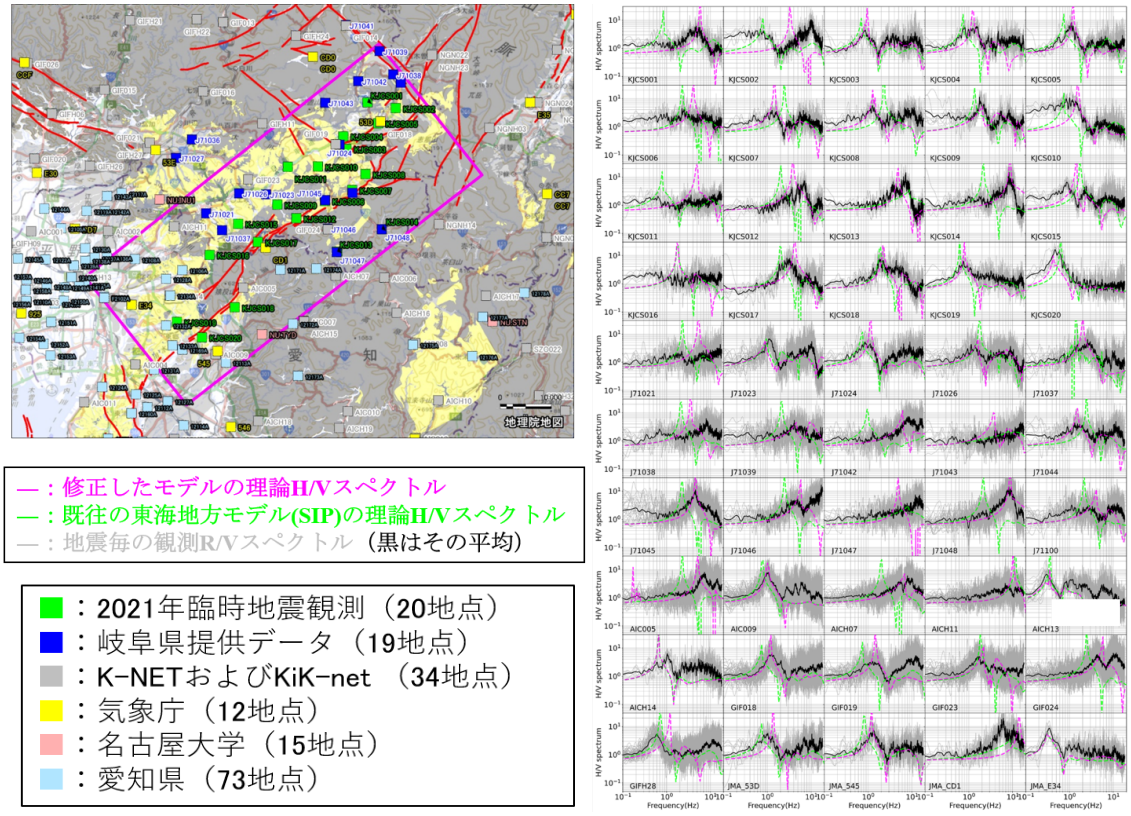
微動アレイ観測（小アレイ）による AVS30（左）と、浅部深部統合地盤構造モデルの AVS30（右）



微動アレイ探査（大アレイ）の観測地点および観測結果（位相速度）と、S 波速度構造解析手法および解析結果の例（背景図：地図・地理院地図、断層トレース・J-SHIS）

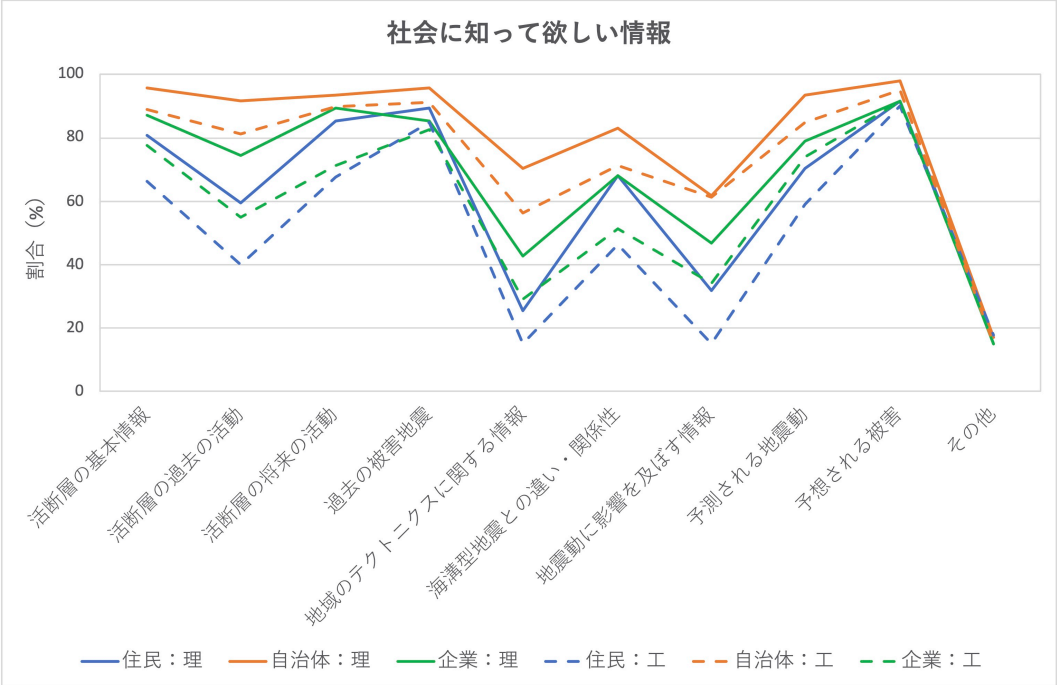


作成した浅部・深部統合地盤構造モデル（左上は Vs3100 上面深度）と既往の東海地方地盤モデルとの断面の比較（背景図：地図・地理院地図、断層トレース・J-SHIS）

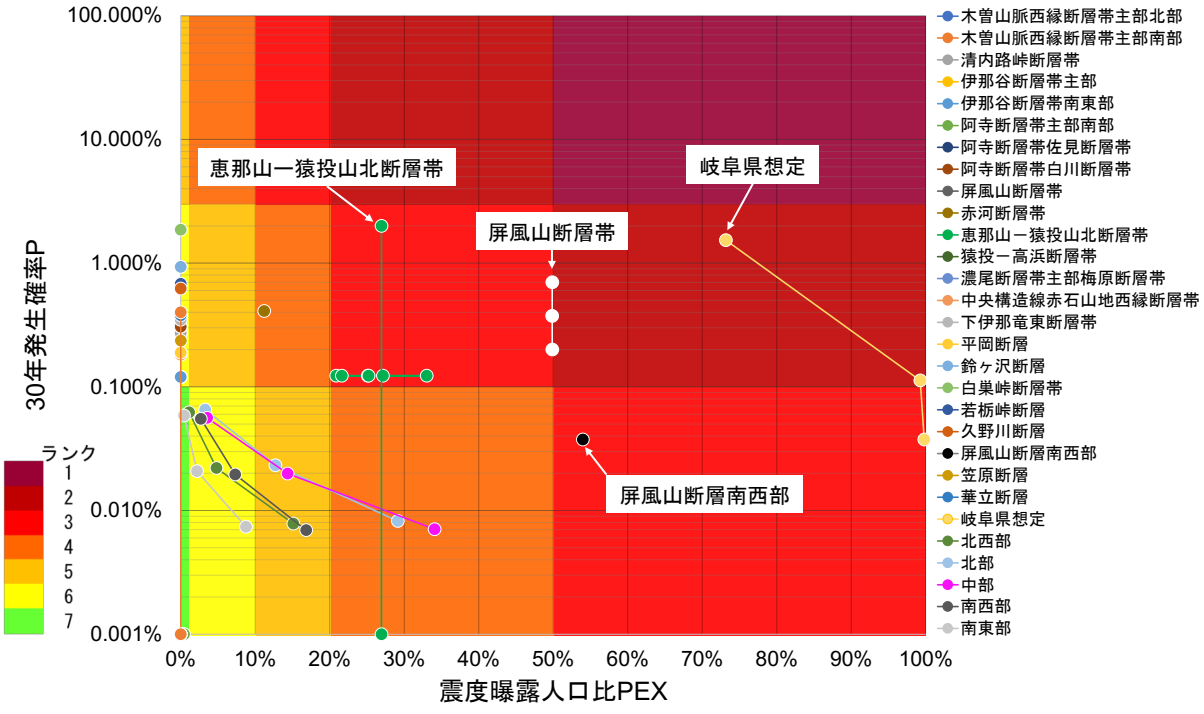


地震観測記録の R/V スペクトル比と地盤モデルによる理論 H/V スペクトル比の比較（左図は地震観測地点図、右図はスペクトル比の比較）（背景図：地図・地理院地図、断層トレース・J-SHIS）

5　不確定性を有する地震予測情報に関する情報発信のあり方に関する調査研究



「活断層に関して社会に知って欲しい情報」に対する回答。「理」は前年度実施した理学専門家の回答。「工」は今年度の工学専門家の回答。



岐阜県内の活断層地震発生確率と震度曝露人口の分布（震度６弱以上）